

令和7年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

1級 経営情報システム「出題の趣旨」

問題1（テーマ問題）

近年、情報システムは、あらゆる企業において競争優位性を保ち、変化に迅速に対応することが求められている。また、事業継続リスクへの対応の重要性が高まっており、各種のトラブルにより情報システムが利用できなくなるケースも散見されている。特に老朽化したシステムはセキュリティリスクや処理能力の低下を招くため、早期の対応が必要となる。このような状況においては、今後のDX推進と安全性確保の両立には、ゼロトラストの考え方に基づいたレガシーモダナイゼーションによるシステムの再構築が必要となる。

本問は、レガシーモダナイゼーションを計画するにあたって、システムがレガシーステータスに近づいていることを示す判断基準についての理解とともに、ゼロトラストベースのレガシーモダナイゼーションを実現するにあたって必要となる啓蒙活動や教育に関する対応力を問う。

問題2（事例問題）

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタル技術を活用して、ビジネスや社会、生活の形やスタイルを変えることを指す。

企業においては、競争力の維持・強化のために、業務の効率化だけでなく、ビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立し、持続可能な成長を実現するDXへの取り組みが経営の重要な課題となっている。

しかし、DXの実現にはさまざまな課題もある。例えば、既存のシステムやプロセスとの整合性の確保、データのセキュリティとプライバシーの保護、組織の変革への対応などが挙げられる。これらの課題を解決するためには、経営層のリーダーシップ、企業組織の文化とプロセスの変革が必要であり、DX推進には、デジタル化に必須な情報技術と社会の動向を注視し理解して、企画・提案できるレベルのスキルや知識が必要である。

本問は、実業務におけるDX推進者としての企画・提案・実行能力があるかどうかを確認することが目的である。